

つくりだそう 支援の輪

認知症になっても安心して暮らせるまちに

認知症の症状には個人差があります。介護の方法も正解があるわけではなく、症状が進めば新たな対応が必要になります。本人や家族だけで解決できる病気ではなく、隣近所や町内、友人による理解と見守りが認知症の方や家族を支える大きな力になります。年齢を重ねれば誰にでも起こり得る身近な病気である認知症。地域全体で支え合えるまちを目指しましょう。

認知症サポーターステッピングアップ講座

認知症サポーター養成講座の修了者を対象とした講座です。グループワークを含めた、理解を深める実践的な内容です。
○認知症の方と家族を支えるために、何か活動できないか。
○認知症に関する知識を向上させたい。

という方、ぜひ参加してください。
日時 11月18日(日)午前10時～午後0時30分(受付は午前9時45分～)
会場 ゆとろぎ2階講座室1
対象 市内在住・在勤・在学の15歳以上(中学生を除く)で、認知症サポーター養成講座を

修了している方
定員 35人(先着順)
講座プログラム
1 認知症の理解を一步深めよう
2 認知症の方と介護者の気持ちに寄り添おう(グループワーク)
3 認知症ケアの実際と認知症カフェ

認知症キッズサポーター養成講座

地域全体で認知症の方や家族を支えていくには、子どもたちの協力も必要です。内容は小学生向けですが、保護者の皆さんもぜひ一緒に参加してください。
日時 11月17日(土)午前10時～11時30分(受付は午前9時45分～)

会場 ゆとろぎレセプションホール

対象・定員 市内在住の小学校4～6年生とその保護者・20組(先着順)

※お子さんのみの参加も可能です(小学校4年生は、会場まで送迎をお願いします)。

講座プログラム
1 認知症ってなんだろう(小学生用テキストを使います)
2 認知症になると困ることと接し方(寸劇で認知症のことをわかりやすく説明します)
3 修了式(認知症サポーターの証「オレンジリング」と「キッズサポーター修了証」を渡します)

※はむりんが修了式に来ます。



共催 羽村市・地域連携型認知症疾患医療センター羽村三慶病院

・地域包括支援センターあかしあ※市公式サイトでもご覧いただけます。

日常生活をサポート

生活支援家事サポーター養成研修 受講生募集

高齢の方の個別の生活ニーズや困りごとに応えるため、介護保険による清掃・洗濯・買い物・調理などの家事援助のみを提供する住民参加型の生活支援家事サポーターを養成します。養成研修修了者には、家事サポーター登録証を渡します。ま

た、協力団体を通して有償ボランティアとして働くことができます。

日時 12月11日(火)午後1時～4時30分・12日(水)午前9時～午後4時30分(2日間)

会場 市役所4階大会議室
対象 市内で活動できる18歳以上の方

定員 30人(先着順)
持ち物 筆記用具
講師 日本ホームヘルパー協会派遣講師など
申込み・問合せ 11月1日(木)～16日(金)に、電話または直接高齢福祉介護課高齢福祉係(内)178へ

2つの講座に共通する事項

持ち物 筆記用具
申込み・問合せ 事前に、電話または直接高齢福祉介護課地域包括支援センター係(内)456へ
※当日の申込みはできません。

わかち合える場所があります

家族介護交流会

高齢の方を介護している方を対象に行います。情報交換や心身のリフレッシュ、介護に関する知識も習得できます。
日時 11月13日(火)午後1時30分～3時(受付は午後1時20分～)

会場 コミュニティセンター2階第一研修室
定員 おおむね10人(先着順)
申込み・問合せ 事前に、電話または直接地域包括支援センターあゆみへ ☎5701200

現状を学び役立てる講演会

「住み慣れたまちで自分らしく生きる」

在宅医療・在宅介護についての講演会です。
日時 11月18日(日)午後2時～
会場 福生市民会館
定員 1000人(先着順)
内容
・特別講演：からだを整える呼吸(息・生き)のはなし
・パネルディスカッション：住み慣れたまちで自分らしく生きる(「最期まで自分の人生を生きる」「生き逝く力を引き出す暮らし方」「在宅看取りの意思決定を支援するために」などのテーマで、パネリストが対話形式で議論を展開します)

講師 河原加代子さん(首都大学東京教授)、他3人
主催 西多摩地域広域行政圏協議会(羽村市、青梅市、福生市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町)

問合せ 高齢福祉介護課地域包括支援センター係(内)195

問合せ 高齢福祉介護課

・地域包括支援センター係(内)456

・高齢福祉係(内)178

認知症カフェに行ってみよう

はむらオレンジカフェ(認知症カフェ)が始まっています。認知症の方や家族、地域の方、専門職の方など誰でも気軽に集まれる場所です。コーヒーなどを飲みながら交流や情報交換ができます。どのカフェにも医療・介護の専門職がいますので、認知症や介護について相談することができます。

認知症カフェマップ配布場所

・高齢福祉介護課窓口
・地域包括支援センターあさひ
・地域包括支援センターあゆみ

周りの人や自分が認知症かも、と心配になったら地域包括支援センターへ

専門の医療機関などを案内し、必要に応じて地域包括支援センターから「認知症初期集中支援チーム」を紹介します。

- ・地域包括支援センターあさひ ☎555-8815
- ・地域包括支援センターあゆみ ☎570-1200
- ・地域包括支援センターあかしあ ☎578-5508

認知症初期集中支援チームが稼働しています

愛称は「ライフサポートチームはむら」です。



認知症初期集中支援チームは、地域連携型認知症疾患医療センター羽村三慶病院内に設置しています。